

自作教材で英語の授業を より楽しく！よりわかりやすく！より深く！

谷口友隆

(神奈川県相模原市立由野台中学校)

1. 自作教材を作成する目的

一昔前とは違い、現在の英語の教科書にはたくさんのドリル的な練習や多彩な活動がバランスよく配置されています。これをこのまま行っても、ある程度はうまくできるような作りになっています。

その上で、では「どのような場面で自作の教材が必要になるか？」と考えると、私の場合は大きく3つ考えられるのではないかと思います。

1つめは、地道な繰り返しのドリル的な作業が必要なとき、教科書だけでは単調になり、生徒が飽きてしまいがちになるので、楽しさを演出するためのカルタなどのゲーム的な教材。

2つめは、英語の文法的な構造や、教科書の内容をよりわかりやすく教えるためのイラストや資料などの提示教材。

そして3つめは、教科書などの紙面では限界があるような言語の使用場面や必然性のあるコミュニケーションの様子を提示し、表面的な理解にとどまらず、より深く理解させるための映像教材など。

このように教科書をベースとした授業に、さらに「楽しさ」「わかりやすさ」「深み」を加味するために自作教材を使っています。

今回はこの中から、3つめの映像教材の作成意図と使用方法について一部を紹介させていただければと思います。

2. 自作の映像教材作成のねらい

中学校ではさまざまな言語材料を教えますが、コミュニケーション能力を育む上で大切なことは「その言語材料がどのような場面において使用されているのか」ということを理解させることです。例えば、

「be動詞と過去分詞を組み合わせると、『～される』という意味になる」という「形式」と「意味」だけをいくら教えても、実際に受け身形が必要な文脈の中で使えるようにはならないからです。NEW CROWNも、もちろんこのような言語の使用場面に配慮して作られています。例えば、受け身形はNEW CROWN Book 2の100ページに初めて登場します。ラージがインドの標識の写真を示し、それについて語っている場面で、「インドの標識には4つの言語が使われています」という文で使用されています。

このように教科書でも、それぞれの言語材料が適切な使用場面の中でわかりやすく提示されていますが、一部の文法事項においては、どうしても紙面だけではわかりにくいのではないかと思います。例えば、現在進行形や、現在完了形の完了用法などがそうです。このような場合に、よりわかりやすく導入し、言語の使用場面を理解させることができるようにという目的で映像教材を作成しました。

3. 具体例その1（現在進行形の導入）

現在進行形は、現在形との使い分けで生徒が戸惑うことがよくあります。日本語に訳すと、どちらも「～しています」となる場合があることと、状態動詞と動作動詞の扱いの違いがあるからです。これを言葉で説明しようとするとなんとも複雑です。そこで、現在進行形の使い方を直感的に理解させるために、私はALTと自作の映像教材を作りました。

ALTが母国にいる家族に、今の自分の仕事ぶりを伝えるビデオレターを作成するという設定で、学校の様子をALTが紹介するという内容にしました。カメラに向かってALTが学校生活のさまざまな場

面を紹介していきます。以下は発話の例です。これを読みながらカメラワークをご想像ください。

Hi, Dad and Mom. I'm showing my school in Japan. I am working in this school. It is a very nice school. (職員室で) That teacher is my partner, Mr Taniguchi. He teaches English. Now he is using the computer. He is making a handout.

(清掃の時間) Look! It's cleaning time. Japanese schools have cleaning time. Look! Many students are cleaning their classrooms.

(放課後) They like club activities after school.

(英語の得意な先輩で美術部の Mai さん登場)

ALT: Hi, Mai.

Mai: Hi, (ALT).

ALT: Oh, you are in the art club. What are you doing now?

Mai: I'm drawing a picture now.

ALT: Wow. That's nice. Are you using color pencils?

Mai: No, I'm not using color pencils. I am using these crayons.

ALT: Wow! Crayons!! That's so nice!! Thank you. (校庭)

This is the school ground. Many students are playing sports...

(この続きとして、まだ台詞のない状態で、それぞれの部活の生徒がテニスや野球をしていたり、走っていたりする映像を見せて、どんなことを話したらよいかを生徒に自由に考えさせ、アフレコさせるという、アウトプットの活動につなげる。)

4. 具体例その2 (現在完了形の導入)

現在完了形の継続用法や経験用法は、教科書だけでも十分に理解させることができますが、完了用法はなかなか教科書だけでは使用場面を十分に理解させるのは難しいと思います。NEW CROWN Book 3では、落語に誘う健にエマが I have just finished my homework. と答えていますが、これだけでは、I (already) finished my homework. との明確な違いを伝えきれません。そこで、私たちは許可をも

らい、勤務校の近くの駅に赴き、次のような自作映像を作りました。

学校の最寄り駅の改札口で、ALT と JTE が偶然出会うという設定です。

ALT: Hi, Mr Taniguchi! What are you doing?

JTE: Wow, (ALT)! I'm going to Shibuya for shopping.

ALT: Sounds nice! I will go to Machida. I want to eat *ramen* there. I know some nice ramen shop there ...

JTE: Oh! The train is coming!!

ALT: Wow! OK. Go!!

(2人がホームに急ぐ。JTE が先にホームに着く)

JTE: Oh, the door has just closed!!

(ALT がホームに到着)

JTE: The train has gone!!

ALT: Oh, my god!!

JTE: The next train is coming 10 minutes later ...

ALT: OK.

5. おわりに

ALT が教室に来られる環境であれば、教室でやりとりしてもよいですが、実際は日数の関係で ALT が来ることができなかつたり、また他学年や他クラスとの関係で、ここぞというときに入ってもらえなかつたりすることもよくあります。しかし映像化しておくことによって、いつでもどの教室でも確実に使用できますし、特に今回紹介した内容では、その場所に行って撮影した方が臨場感もあり、言語材料がより自然な形で提示できるので、むしろ映像の方がよいかもしれません。また、授業中に何度も必要なだけ再生でき、年度が替わっても使用できるので便利です。

生徒も、おなじみの場所や先生、先輩が登場することで、より注意して聞こう、理解しようとする。うまく自作教材を活用することで、英語の授業をより楽しく、よりわかりやすく、そしてより深く教えることができます。

ぜひ、自作の教材づくりや授業づくりを楽しむヒントにしていだけたらと思います。